

# あひこ

## 【平和都市宣言】

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。(昭和60年12月3日)

発行／我孫子市 編集／企画総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地 ☎04-7185-1111(代表) 04-7185-1520



### 陽光桜

平成28年、我孫子市原爆被爆者の会が平和の記念碑のそばに植樹しました。陽光桜は、高岡正明さんが出征を見送った教え子たちの戦死を悼み、品種改良に20年以上情熱をささげたもので、平和の象徴として世界中で植樹が行われています。



### 平和の灯

平成27年、広島平和記念公園にある平和の灯から種火を譲り受け、派遣中学生が手賀沼公園に点灯しました。平和の灯は、全国から集められた“宗教の火”と“産業の火”が、恒久平和を願い点火されたもので、地球上から核兵器がなくなるまでともし続けます。

## 手賀沼公園

# 平和の象徴

## つなぐ、後世へ



### 平和の 記念碑

昭和60年、被爆した旧広島市庁舎の側壁と敷石を我孫子市原爆被爆者の会が広島市から譲り受け、翌年8月に、市が手賀沼公園に平和の記念碑を建立しました。以後、毎年8月に、平和の記念碑前で平和祈念式典を開催しています。

### 被爆アオギリ二世 被爆クスノキ二世

平成24年、広島市から被爆アオギリ二世、長崎市から被爆クスノキ二世の苗木を譲り受け、派遣中学生が手賀沼公園に植樹しました。被爆後、数十年間草木も生えないといわれていましたが、奇跡的に新たな葉を芽吹き、その姿は人々に生きる勇気と希望を与えました。



▲被爆アオギリ二世



▲被爆クスノキ二世



### 佐々木 禎子さんと 禎子鶴

平成27年、広島平和記念公園にある“原爆の子の像”のモデルの佐々木禎子さんの兄と甥から禎子鶴が寄贈され、アビスタに常設展示しています。禎子鶴は、被爆後白血病を患った禎子さんが「生きたい」と願いながら、葉やキャラメルの包み紙で折り続けた鶴です。原爆の子の像は、願いかなわず12歳という若さで生涯を終えた禎子さんを思い、同級生らが建てました。

## 平和の尊さを後世へ

終戦から79年を迎えます。手賀沼公園には広島市・長崎市から譲り受けた“平和の象徴”があります。身近な手賀沼公園で、実際に見て、触れて、平和の尊さや戦争の悲惨さについて改めて考えてほしいと思います。

毎年8月に、市内各中学校の代表生徒を被爆地へ派遣しています。今年は、8月6日(火)に広島市で開催される平和記念式典への参列などを予定しています。8月10日(土)に開催する市の平和祈念式典では、派遣中学生が現地を感じたことを報告しますので、ぜひご参覧ください。

市では、平和の尊さを後世へ伝えるため、さまざまな平和事業に取り組んでいます。多くの方が平和について考え、戦争や核兵器のない世界が実現することを強く願っています。

市長 星野 順一郎